

平成29年度 後期 学校評価(自己評価) 報告②

八幡浜市立保内中学校

H30年1月実施 回答数：教職員22名 生徒262名 保護者253名

回答 (A)あてはまる (B)だいたいあてはまる (C)あまりあてはまらない (D)あてはまらない

肯定評定 $\frac{\text{＜(A)+(B)＞}}{\text{＜(A)+(B)+(C)+(D)＞}} \times 100$

評価 80%以上…A 60%～80%…B 60%未満…C 比較：1%以上向上…↑ 1%以上後退…↓ 変化率±1%未満…→

項目	別	質問内容	回答数(人)					肯定(%)	評価	H29前期		肯定(%)	項目評価	H29前期	
			(A)	(B)	(C)	(D)	?			肯定(%)	増減			肯定(%)	増減
			(5) 教職員 学級や部活動が、いじめがなく、支え合ったり励まし合ったりする集団となるよう工夫している。												
(5) 生徒 学級や部活動などは支え合ったり励まし合ったりする雰囲気ができている															
(5) 保護者 学校は、いじめのない(学校)学級づくりや部活動経営に取り組んでいる。															
(6) 教職員 生徒とかかわりを多くもち、生徒の悩みに気づき、相談に応じている。															
(6) 生徒 先生は、生徒が友達をいじめたり仲間はずれにしないように正しく指導している。															
(6) 保護者 先生は、お子さんの心配事や悩みに気づき、相談に応じている。															
(7) 教職員 人間関係に配慮し、孤立生徒をつくらない集団づくりに努めている。															
(7) 生徒 あなたは、心配ごとや悩みごとを気軽に話したり相談したりできる友だちがいる。															
(7) 保護者 お子さんには、心配ごとや悩みごとを気軽に話したり相談したりできる友だちがいる。															
2 支え合う仲間、 集団づくりの 推進	考察・ 対応策等	(5) 前期に引き続き、三者共に高い評価である。統合初年度に心配されていた、生徒間の人間関係がうまくいっていると考え。生徒間の小さな問題はあがるが、保護者とも連携し、学校としてすばやく対応できていることを評価されていると考える。18名の生徒、21名の保護者からは「あまりあてはまらない」、「あてはまらない」という回答があるので、今後もチーム保内で「いじめ」のない集団づくりに取り組んでいきたい。													
		(6) 高い評価ではあるが、前期の評価からは肯定評定が少し減少している。定期的な教育相談はもちろんだが、1年間の総まとめをする時期なので、チャンス相談の機会を多く取り、進級・進学に向けて生徒の悩みを解消できる体制を今以上に整えていきたい。													
		(7) 前期に引き続き、三者共に高い評価である。しかし、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と答えた保護者・生徒がともにおよそ30名と前期とあまり変わっていない。引き続き学校生活全般を通じた、仲間づくり、集団づくりを推進していきたい。													
		(総) 全体的に高い評価である。統合しておよそ1年が過ぎたが、生徒間の仲間づくり、集団づくりが順調に進んでいると考える。今後も複数の目で生徒一人一人にしっかり目を配りながら、学校生活の様々な場面で支え合う仲間づくり、集団づくりを推進し、保護者・生徒を含めた全員が肯定評価となるよう努力していきたい。													